

第2回高知県史編さん編集委員会議事概要

日時：令和4年3月20日（日）

13時00分～15時00分

場所：三翠園 富士の間

出席委員：藤井委員長、羽賀副委員長、井上委員、渡部委員、三宅委員、小幡委員、
大門委員、鋤柄委員、常光委員、佐藤委員、岡本委員、三浦委員、
津野委員（リモート）、邑田委員（リモート）

事務局：依光課長、山崎企画監、南チーフ、吉井主幹、武内主幹

配布資料：【資料1】第1回編集委員会での主なご意見

【資料2】高知県史の編さん計画案

【資料3】近世・近代・民俗部会の委員候補者名簿

【資料4】高知県史に係る第1期計画について

【資料5】令和4年度予算の概要

【資料6】令和4年度県史編さん室の体制について

【参考資料1】高知県史編さん基本方針

【参考資料2】高知県史編さん編集委員会設置要綱

【参考資料3】第1回編集委員会の概要

【参考資料4】古代中世・近世・近代・現代・考古部会の説明資料
三翠園からの高知城歴史博物館への徒歩経路図

1 開会

2 挨拶

藤井委員長（高知県史監修者）より開会挨拶

3 協議・報告事項

(1) 高知県史の編さん計画について

(2) 近世・近代・民俗部会の設置について

資料1、2について事務局より説明

各委員質疑なし

(3) 高知県史の第1期計画について

(4) 令和4年度予算及び事務局の体制について

資料4～6について事務局より説明

【各委員主な意見】

- 部会が正式に発足されないと、その部会の活動はできないという認識でよろしいか。
 - 来年度以降設置される5つの部会の措置について、緊急性の高い資料調査などを想定し、先行調査として一定の予算を計上している。令和4年度中に調査が必要であれば、事務局に相談していただけたらと思う。

(5) その他

各部会より部会発足に向けての現時点での状況報告
参考資料4について各部部长より説明

【各委員主な意見】

- 旧県史に収録されている文書群の掌握と現状追跡を早急に進めていかなければならない。
- 先行研究データとして論文や著作といったものをしっかりと情報化し、参照できる体制をつくる必要がある。
- 資料調査をするときにどういう形で許諾をとるのか、県史への収録のみならず、その後のデータの運用・活用をしっかりと担保できる体制を事務局に整理していただきたい。30～40年後に誰が、いつ、どういう調査をしたのか追跡できるようにする必要がある。
 - 長期保存・活用という観点から、撮影データをどういう形で標準化するのか、最初の段階である程度ルールに則って運用していくべき。同じ場所に調査することがないよう、調査データを誰がどう管理しており、どこに聞けばデータがあるのか確認できるデジタルストレージや物理的システムなどの保管体制を次年度の予算要望として挙げたい。
 - また、「自分では持ちきれない、できれば寄託・寄贈したい」という声から一般の方から上がった場合、どう回答し誘導していくか、調査が本格的に始まる前に、県として一定の指針を示していただきたい。
 - 集めた資料を将来どう使っていくのか、撮影データの標準化という保全運用システムをどう構築していくのか、資料移管の要望などがあつた時に県としてどう対応するのか、早い段階で決めた方がいいと思う。次回の編さん編集委員会で議論を深めたい。

- 部会専門員、あるいは地元の学生や学芸員などと協力し、恒常的調査及び集中調査を実施することで人材育成を図っていきたい。
- 県内に残る各種地域資料の発掘、整理に関してしっかりと調査を行う。近代史においては新聞資料が1つ重大な柱になるので、現在の所蔵や整理の状況を確認しながら、委員が利用しやすい環境をつくっていく。
市町村の行政文書や新聞資料などによって、大正・昭和時期の県の広報等資料がまとまって残っているが、明治期の行政文書等がない状況。どう復元していくか、作業のやり方を考えていく必要がある。
- 県の広報誌であるときぶしのような紙媒体と併せて、デジタル媒体で県史の成果を出していくことを検討すべきではないか。
- 重要な資料については適宜印刷する必要があるため、次年度以降の予算の中に印刷費用等、必要な費用を計上しておくべき。
- 基礎的な図書、有用な図書はしっかりとした場所で保管されなければならない。各部会は事務局に資料の情報を伝え、事務局には伝えられた情報を基に必要な資料を収集し保管する場所の確保をお願いしたい。
- 一般の方が引っ越しする際に思わぬ形で資料を発見したといったケースもあるため、コレクターとの交流も検討すべきではないか。
- 令和4年6月に各部会で第1期計画を策定することになっているが、どこでどういう形で決定されるのか。また、規定上、高知県史編さん委員会並びに高知県史編さん編集委員会での協議が必要とされている特別調査委員の委嘱手続きはいつから始めたらよいか。
→ 令和4年6月末を目処に第3回高知県史編さん編集委員会を開催し、その委員会の場で各専門部会で用意した第1期案を示していただき、それぞれの部会の計画として承認できればと考える。
特別調査委員については、予算の関係もあるが、可能な限り委嘱の方向で手続きを進めたい。4月に入ってから委嘱を検討されている部会は一度事務局に相談していただけたらと思う。
- 進捗管理をしっかりとするためにも、県史編さん事業が始まった当初の段階で会議が多くなるのは仕方ないと思うが、第3回高知県史編さん編集委員会の開催目的が

第1期計画を策定するためのようにやや聞こえる。計画策定のために委員会を開くのではなく、調査体制を早急に構築する、準備を重ね実際に調査することに力をさかなければならない。事務局には会議と調査の関係を上手にコントロールしてもらいたい。

→ 本委員会が出た意見・内容を事務局でまず整理する。その後各部会と調整し第1期計画案を作成し、委員会で意思決定を図ることとしたい。

4 閉会

(以上)